

## 9月5日：小売りセクターが軟調で、週明けのVN指数は反落

月曜日のベトナム市場は強い売り圧力に押され、安値で取引を終えた。

VN指数は午後に前日の終値を割り込んだ。その後は上昇下落の値動きとなり、午後2時半頃に再び前日終値付近まで値を戻した。しかし上昇の勢いを保つには買いが少なく、その後VN指数は徐々に下げ、前日比0.25%安の1,277.35ポイントで取引を終えた。騰落別では201銘柄が上昇、142銘柄が下落した。そのうち、8銘柄がストップ高、6銘柄がストップ安を付けた。

ホーチミン市場の出来高は11兆6,000億ドン（4億9,400万ドル）となった。

VN30指数は0.25%下落の1,298.15ポイントで取引を終えた。同指数のうち、6銘柄が上昇、21銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。

ベトナムコムバンク（VCB）は1.67%安とマーケットの下げを主導。他にもベトナム投資開発銀行（BID）、VPバンク（VPB）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、ベカメックス IDC（BCM）がそれぞれ下落した。

相場を下げる動機となった小売セクターは1.57%下落した。主な値下がり銘柄には、モバイルワールド（MWG）-2.03%、ビグラセラ（VGC）-1.17%、サイゴンジェネラルサービス（SVC）-3.09%が含まれた。

銀行セクターも軟調で1.05%下落した。主な値下がり銘柄にはベトナムコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、VPバンク（VPB）が含まれた。

不動産セクターであるビンググループ関連銘柄は、それぞれまちまちの値動きとなった。ビンググループ（VIC）は0.47%高、ビンホームズ（VHM）は変わらず、ビンコムリテール（VRE）は0.54%安だった。「不動産セクターは停滞しており、銀行融資の引き締めに加え、公共投資の遅れは鉄鋼企業の足を引っ張っている」と証券会社の専門家は話す。

ハノイ市場のHNX指数は0.31%高の292.82ポイントで取引を終えた。

海外投資家はホーチミン市場で4,179.3億ドルを売り越し、ハノイ市場で380.1億ドルを買い越した。両市場では合わせて3,799.2億ドルを売り越した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。